

2003年10月27日

各位

会社名 日立電線株式会社
代表者 執行役社長 佐藤 教郎
(コード番号 5812 東証・大証1部)
問合せ先 人事総務本部総務部長
鈴村 慎一郎
(TEL. (03)5252-3261)
当社の親会社 株式会社日立製作所
代表者 執行役社長 庄山 悦彦

2003年9月中間期業績予想の修正について

2003年9月中間期(2003年4月1日~2003年9月30日)の個別の業績予想について、2003年7月25日の第1四半期決算発表時に公表しました業績予想を、下記のとおり修正します。

なお、配当予想につきましては、7月25日の第1四半期決算発表時に公表しましたとおり、中間期、期末とも1株当たり2.50円(年間では1株当たり5円)を予定しており、変更はありません。

記

1. 2003年9月中間期 個別業績予想の修正

	単位	売上高	経常利益	中間(当期)純利益(損失)
前回発表予想(A)	百万円	115,000	0	△5,000
今回実績(B)	百万円	113,259	351	△4,581
増減額(B)-(A)	百万円	△1,741	351	419
増減率	%	△2	-	-
(ご参考)前期実績 2003年3月期	百万円	242,908	△3,019	△3,334
2002年9月中間期	百万円	120,426	△2,767	△454

2. 業績予想修正の理由

当社個別の2003年9月中間期の売上高は、ほぼ当初の見込みどおり推移しましたが、経常利益は、営業外収支が改善しましたため、当初予想を上回る結果となりました。これに伴い、中間純損失も、当初予想よりも縮小しました。

なお、当社グループの連結業績につきましては、当社個別業績が当初予想を上回ったものの、東日京三電線株式会社等、国内外のグループ会社業績が当初予想を下回りましたため、全体としては当初予想を修正するにはいたりませんでした。

3. (ご参考) 2004年3月期 業績予想

2004年3月期(2003年4月1日~2004年3月31日)の業績につきましては、連結、個別とも7月25日の第1四半期決算発表時に公表した数値から変更ありません。

	単位	売上高	経常利益	当期純利益(損失)
連結	百万円	325,000	4,000	△2,900
個別	百万円	230,000	2,000	△2,900

以上

(注記)

前述の業績見通し等に記載されている各数値は、実績数値を除き当社の経営者が現時点で判断する一定の前提及び仮定に基づき計算しており、実際の業績等は見通しの数値と異なることがあります。その要因のうち主なものは、次のとおりです。

- ・ 主要市場（特に日本、米国、アジア）における経済状況
- ・ 急激な技術変化（特にエレクトロクスビジネス）
- ・ 新製品・新技術の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及びグループ会社の能力
- ・ 製品市場、製品市況の変動（特にエレクトロクスビジネス）
- ・ 為替相場の変動
- ・ 資金調達環境の変動
- ・ 製品需給、製品市況及び為替相場等の変動に対応する当社及びグループ会社の能力
- ・ 自社特許の保護及び他社特許の利用の確保
- ・ 製品開発等における他社との提携関係
- ・ 日本の株式相場変動

発表後 12 時間が経過する時点（2003 年 10 月 28 日午前 3 時 00 分）までに本件発表内容をご覧になられた方は、証券取引法第 166 条及び同法施行令第 30 条の規定により、インサイダー取引規制に関する会社関係者又は第一次情報受領者となりますので、十分ご注意ください。
